

第115回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 令和元年6月20日（木）13：27～15：13
場 所 事務局特別会議室（4階）

- 議題1. 役員の退職手当に係る業績勘案率について（資料1）（資料席上配付：回収）
議題2. 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料2）
議題3. 平成30事業年度決算について（資料3）
議題4. 令和2年度概算要求について（資料4）
議題5. 令和元年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の予算配分について（資料5）
報告事項1. 経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会について（資料6）
報告事項2. 2019年6月期の勤勉手当における成績評価区分について（資料7）
報告事項3. 平成30年度卒業・修了者の進路状況について（資料8）
報告事項4. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料9）
報告事項5. 記者発表事項等について（資料10）
協議事項1. 鹿児島大学における経営改革について（資料11）

その他

[出席委員] 11名

佐野学長

(理事) 馬場、越塩、岩井、武隈、山木

(学外有識者) 池田、月野、坪内、津曲、福元

[欠席委員] 4名

(学内委員) 夏越

(学外有識者) 岩切、宮原、山野

[オブザーバー]

(理事) 萩元

(監事) 伊牟田、押越

(副学長) 森、渡邊

(学部長等) 高津、上谷、岡村、河野、木下、橋本、佐久間、宮本、本間、於保、宇都宮、靱井

議題1. 役員の退職手当に係る業績勘案率について（資料1）（資料席上配付：回収）

学長から、平成31年3月31日付けで退職した役員の退職手当に係る業績勘案率について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

議題2. 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料2）

学長から、平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について諮られ、岩井理事から、「平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書」を取りまとめた旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、6月28日までの文部科学省への提出に向け、今後の修正等については、学長一任とすることが確認された。

議題3. 平成30事業年度決算について（資料3）

学長から、平成30事業年度決算（案）について諮られ、山木理事から、平成30事業年度決算の概要について、各財務諸表の概要及び財務指標による分析等について資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案どおり了承された。

議題4. 令和2年度概算要求について（資料4）

学長から、令和2年度概算要求（案）について諮られ、山木理事から、機能強化経費（機能強化促進分、共通政策課題分）等の令和2年度概算要求事項等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、概算要求事項の選定・要求順位・要求額等については、文部科学省との事前相談の状況等を踏まえ、最終決定は学長一任とすることが確認された。

議題5. 令和元年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の予算配分について（資料5）

学長から、令和元年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の予算配分（案）について諮られ、山木理事から、鹿児島大学間接経費の取扱要項に従い、各部局の見積りによる科学研究費補助金・共同研究費・受託研究費等の収入見込額を原資に、全学分と部局分に折半して支出予算として配分し、全学分については、研究開発環境の改善経費や産学官連携活動支援経費に充当する予定である旨資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項1. 経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会について（資料6）

学長から、経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会を7月29日（月）に開催予定である旨資料に基づき説明があった。

報告事項2. 2019年6月期の勤勉手当における成績評価区分について（資料7）

越塩理事から、2019年6月期の勤勉手当における成績評価区分について、今年度の人件費抑制のための方策の一つとして、2019年6月期の勤勉手当の成績率A区分及びB区分の実施を保留することについて、資料に基づき説明があった。

報告事項3. 平成30年度卒業・修了者の進路状況について（資料8）

武隈理事から、平成30年度卒業・修了者の進路状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項4. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料9）

学長から、本学での動向等を把握していただくために教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

報告事項5. 記者発表事項等について（資料10）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

協議事項1. 鹿児島大学における経営改革について（資料11）

学長から、今回の協議事項は、鹿児島大学における経営改革について提案した旨説明があり、引き続き、渡邊副学長から、鹿児島大学における経営改革について、人事給与マネジメント改革・

新評価基準への対処、人件費の抑制、帰属収入の増大方策等の検討及び実施が必要である旨資料に基づき説明があった。

説明の後、学外委員から次のような意見等があった。

- ① カリキュラムのスリム化は非常に重要であるため、カリキュラムの見直しを議論する必要がある。また、問題を考慮する際は、そもそもの議論が必要である。
- ② そもそも鹿児島大学は、どのような大学なのかということを常に再検証しながら、研究と教育のバランスを考え、予算を配分してもやるべき研究及び教育を決定する必要がある。
- ③ 研究費等の確保は、公募等の迅速な情報収集が必要である。また、費用対効果や人材輩出についての評価も必要である。
- ④ 各学部、学科ごとに経費の削減、外部資金の導入等について、改善及び対策案を自主的に提出させ、その内容及び実効性を検証し、人事評価及び研究費配分等に反映してはどうか。
- ⑤ 各領域ごとに非常に独創性の高い先端的な研究ができる体制作りが必要である。そのためには大掛かりな組織改革が必要であり、具現化するための明確な戦略を考えなければならない。

なお、学長から、鹿児島大学における経営改革等については、年度内にもう一度、取組状況等報告する予定である旨説明があった。

その他

次回（定例）は、令和元年9月26日（木）13時30分からとなった。